



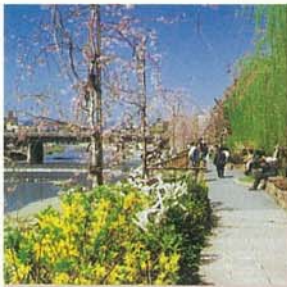
みやこ

の

づくら



京都府



みやこ 京の川づくりの概要

みやこ
京の川づくりは、京都府民・京都市民の皆様のゆとりや豊かさへの志向、自然環境に対する社会的関心の高まりに呼応し、平安建都1200年を契機として、京都市域内の知事管理河川—41河川を対象に、治水対策には万全を期しつつ山紫水明の歴史都市・京都にふさわしい河川環境整備を行っているものであります。

この事業は、学識経験者や京の町衆などで構成された「京の川づくり懇談会」の御意見を伺いながら、その理念や整備のコンセプトをとりまとめた「京の川づくりプラン」に基づき、うるおいのある美しい水辺を創出し、良好な環境を共有財産として、次世代に継承することを目的に、平成5年度から事業を実施しています。

事業の実施に当たりましては、府民・市民の皆様への要請を踏まえ、それぞれの京の川の現状や沿川の実情に即した具体的な河川環境整備計画を策定して進めているところです。

府市協調事業として進めていた鴨川「花の回廊」は平成11年度に、山科川「洛東の散策路」は平成12年度に完成し、府民・市民の皆様はもとより、京都を訪れた数多くの観光客の皆様にも都市の貴重な緑のスペースとして親しまれ、水辺の散策などに利用されています。

歴史都市・京都の風土・文化を活かした川づくりにより、京都の未来を託すにふさわしい文化的財産として、うるおいとやすらぎに満ちた美しい水辺環境が創造されます。

自然環境やまちの景観と調和した川づくりにより、府民・市民の皆様に親しんでいただける心地よい生活空間や質の高いアメニティ空間が形成されます。

府民・市民の皆様への要請とアイデアを踏まえた川づくりにより、京都独自のアイデンティティが創生され、河川利用者のマナーの向上など、河川愛護思想の高揚が期待されます。





整備理念

新しい歴史・文化を醸しだす川づくり

■京の川の沿川や流域は、都市開発の影響を受けながらも、歴史的景観や文化の薫りを色濃く残しています。長い歴史との関わりを活かしながら、都市化の進展の中で、京の川から失われつつある文化的財産の保全・再生や忘れ去られた河川文化の発掘によって、21世紀に引き継ぐべき歴史・文化を醸しだし、府民・市民の皆様の河川に対する認識や愛着心を高め、地域の個性を活かした河川環境を創出します。

水に親しめる川づくり

■京の川は、洗練され風雅に富んだ京都の生活習慣の形成に深く関わりながら、芸能や遊興を通して人々に交流の場を提供することで、暮らしに賑わいと活力をもたらしてきましたが、都市化の進展とともに希薄になってきました。このように、現在失われつつある京の川の魅力を再生することにより、川遊びなどが楽しめる心地よい暮らしの場や交流の場を提供し、新しい時代にふさわしい水辺の生活空間を創出します。

自然とふれあえる川づくり

■京の川は、流域の土地利用の進展とともに、治水機能の確保を優先する河川改修が余儀なくされてきたため、動植物の生息や生育にとって改善が望まれる環境となっている河川も多く存在します。このような河川の自然環境の回復に努めるとともに、今も美しくうろのおいのある河川の環境保全に取り組むなど、京の川を季節感のある豊かな生活環境として身近に親しむことのできる水と緑の自然空間を創出します。

安全で美しい川づくり

■京の川は、時代を超えて地域のシンボルとなり、まちの風格に重厚さを加えるなど、都市景観を形成する中心的存在です。京の川が担う景観軸としての役割を高揚させるため、府民・市民の皆様の生命と財産を守り、安全な活動基盤を確保する治水対策との整合を図りつつ、沿川の町並みや山並みの景観との調和を図るなど、都市部における水と緑の新しい生活環境として、山紫水明の地にふさわしい河川景観を創出します。

河川環境

生物環境

水辺の生き物にやさしい川づくり

- ・動物生息機能
- ・植物生育機能
- ・自然環境保全機能

生物

空間

水

空間環境

川の雰囲気良くして
利用しやすくする川づくり

- ・景観機能
- ・散策機能
- ・親水機能
- ・レクリエーション機能

水環境

きれいで豊かな水を
確保する川づくり

- ・水質浄化機能
- ・水量確保機能



ゾーニング

キーワード●

光

北山・きらめきの川

桂川・安曇川水系

桂川(上桂川)、別所川、能見川、針畑川、久多川

緑豊かな北山に抱かれた山里の清浄な流れを湛える水辺の自然環境を保全し、自然とふれあい、交流やコミュニケーションの場となる水辺空間を提供していくゾーンです。

宇多川



右京・おもかげの川

天神川・清滝川水系

宇多川、御室川、有栖川、西高瀬川(上流)、清滝川、瀬戸川、天神川(紙屋川)

天神川と清滝川を中心に、上流域の歴史・文化の薫りを、下流域の市街地に伝える身近な生活空間軸として、調和のとれた水辺空間を提供していくゾーンです。

●キーワード

径

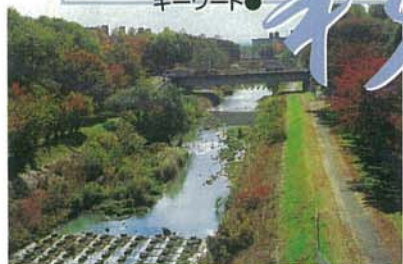
洛西・いろどりの川

小畑川・芥川水系

小畑川、善峰川、芥川

竹取物語の舞台ともなった竹林に古刹が溶け込む自然環境に囲まれ、古くからの集落地にニュータウンが拓かれた地域で、この自然環境と調和し、集落とニュータウンとの交流の場となる水辺空間を提供していくゾーンです。

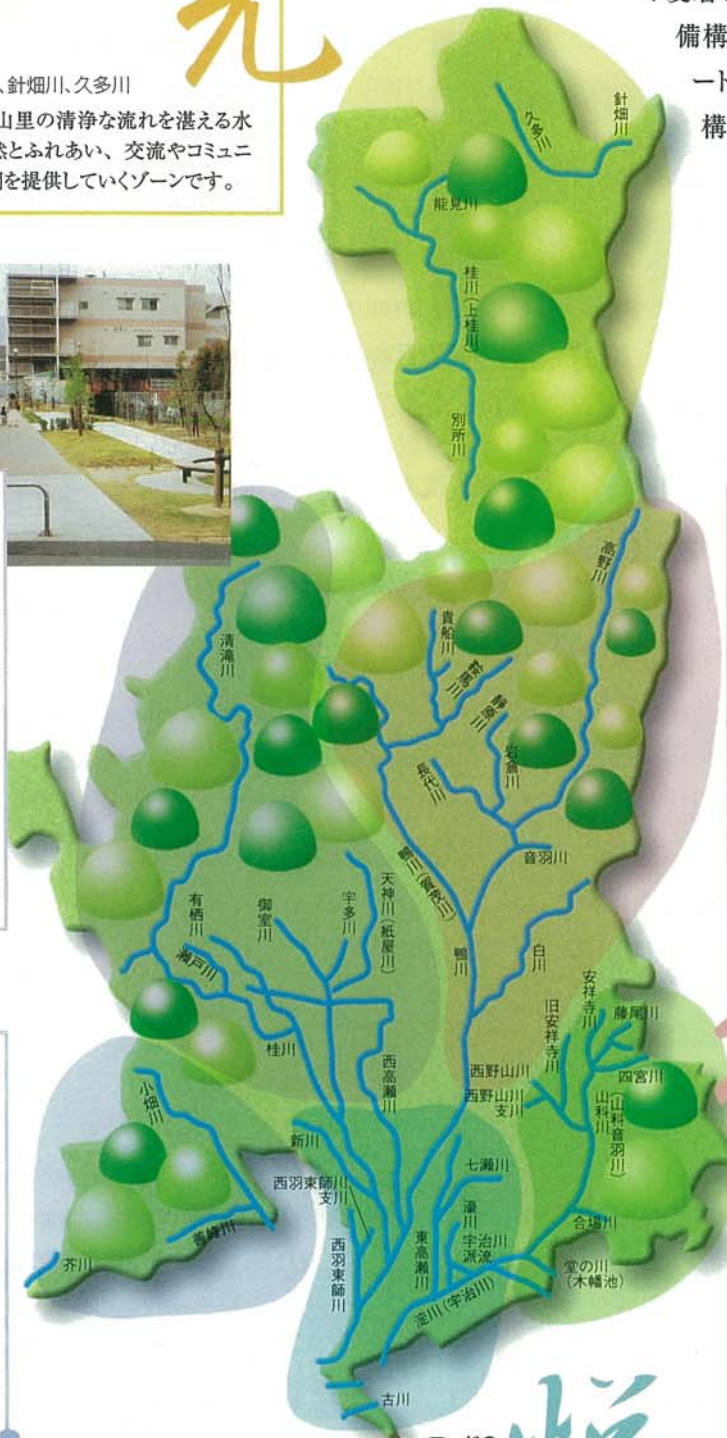
●キーワード



小畑川

京の川づくりでは、河川との関わりの深い歴史・文化を活かした河川環境整備を図るため、地域的な分布特性に配慮したゾーニングを行います。河川の特性と地理的一体性から水系別に6ゾーンに分割し、愛称となるゾーンの名称を設けます。

ゾーンは、川づくりと京都の歴史・文化の関係を端的に説明するテーマの基に、府民・市民の皆様が京の川に親しみや愛着を持つことができ、その環境整備構想を表象する個性的なキーワードを設定し、ゾーンごとの整備構想を特徴づけます。



高野

左京・みやびの川

鴨川(上流・中流)水系

鴨川(賀茂川/上流・中流)、白川、高野川、音羽川、岩倉川、長代川、静原川、貫船川、鞍馬川

鴨川水系の源流域および中流域で、日本文化発祥の地であり、豊かな自然環境を有し、交流やレクリエーションの場となるような心地よい水辺空間を提供するなど、歴史・文化の関わりの特性を活かしていくゾーンです。

●キーワード

花

洛東・いざないの川

山科川水系

山科川(山科音羽川)、堂の川(木幡池)、合場川、旧安祥寺川、四宮川、藤尾川、安祥寺川、西野山川、西野山川支川

歴史を伝える神社仏閣と新しい住宅地が混在する地域で、まちづくりと調和し山科七郷をしのぼせる水辺の情緒の回復に努め、散歩や語らいを楽しむことができる水辺空間を提供していくゾーンです。

●キーワード

楽

洛南・はぐくみの川

鴨川(下流)・新川・西羽束師川・宇治川水系

鴨川(下流)、西羽束師川、西羽束師川支川、新川、古川、西高瀬川(下流)、東高瀬川、七瀬川、宇治川派流、濠川

かつて巨椋池に隣接した水郷地帯で水運の要衝ともなり、豊富な水が酒造などの伝統産業を育むなど、新たなまちづくりが活力ある発展を促す地域で、水辺の自然や新しい歴史・文化の形成に寄与する水辺空間を提供していくゾーンです。

●キーワード

悦

彩

ネットワーク

多くの京の川は、北から南に向けて流れているため、東西方向の河川間の繋がりが希薄となる傾向があります。京の川づくりの一体化を図るため、対象河川群を散策路により縦横に結ぶネットワークを形成します。

河川の特徴の1つに線的な連続性が挙げられますが、上流から下流にかけて散策路などにより連続性が保たれている京の川は、必ずしも多くはありません。このため水辺の散策路をネットワーク化し、ゾーンの範囲を越えて京都市域の河川を一つに結ぶ京の川づくりを行います。

ネットワークは、南北軸となる川沿いの散策路“せせらぎの花の道”と京都市域の緑と文化のネットとして位置付けられている散策路“歴史の道”を東西軸として構成します。



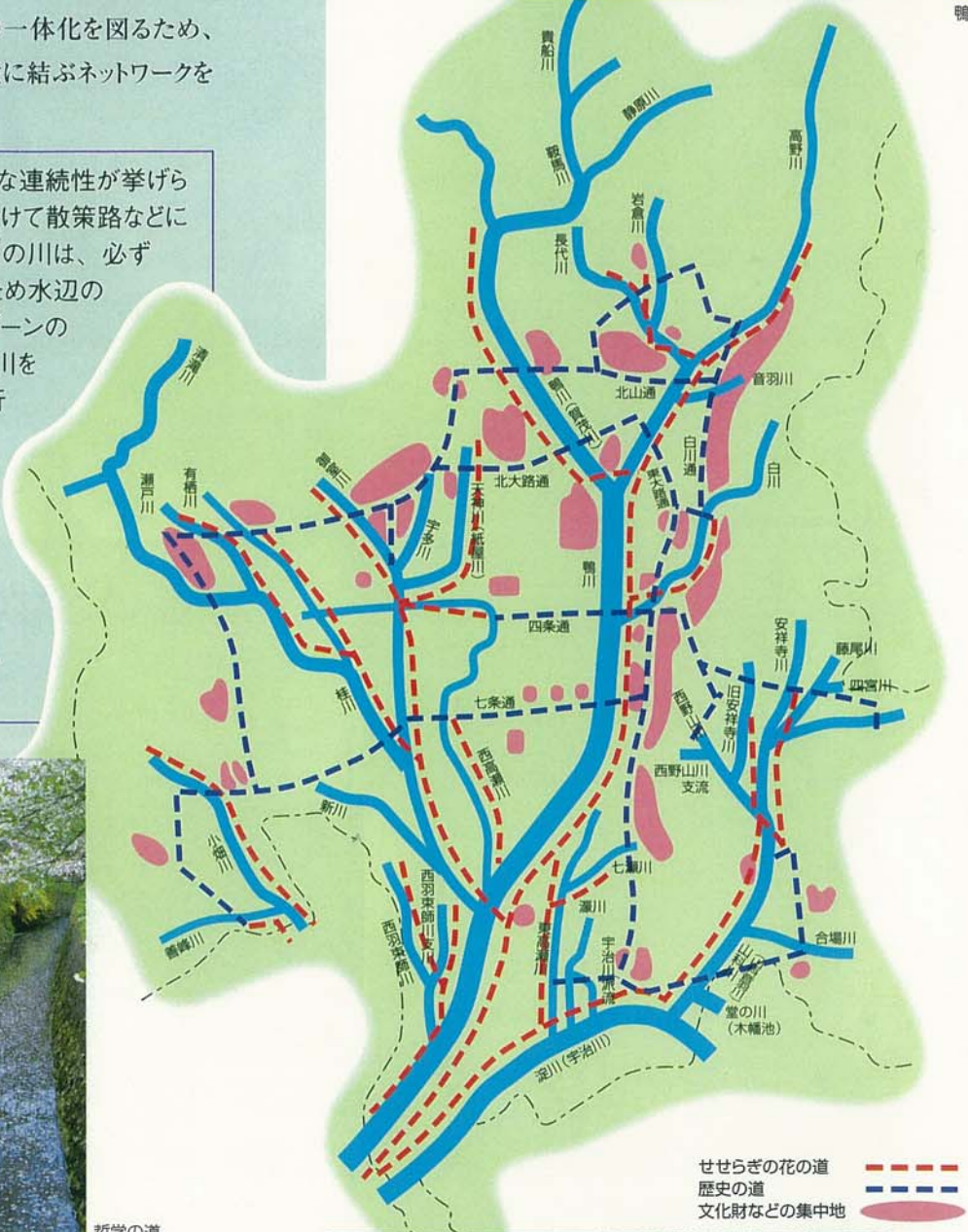
哲学の道

京の川の橋詰や合流点は、ネットワークの結節点ともなることから、散策機能を強化するため、府民・市民の皆様の集いといこいの場となるよう整備します。

余裕地のある橋詰や京の川の合流点は、訪れた人々がいこえる水辺として整備します。特に合流点には高木や低木類を植栽するなど、ランドマークとして地域の景観シンボルとなるよう整備します。



鴨川

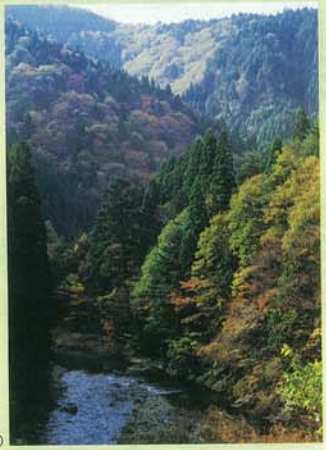


せせらぎの花の道
歴史の道
文化財などの集中地



旧安祥寺川

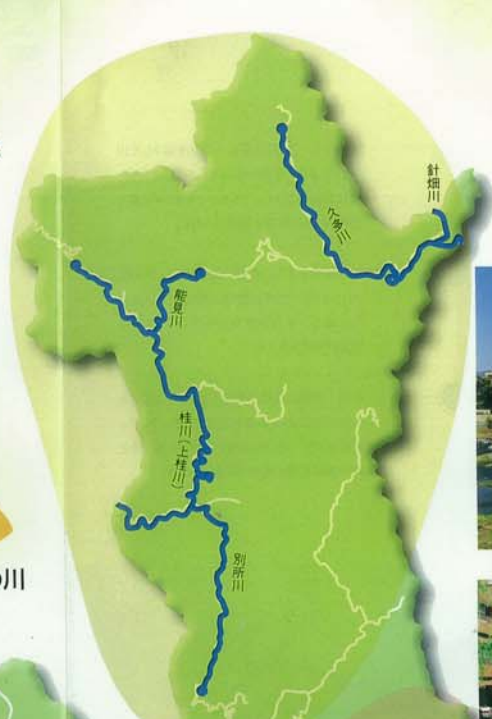
京の川の整備状況



上桂川(左京区)

光

北山・きらめきの川



鴨川公園(北区・上京区・左京区)



天神川(右京区)

径

右京・おもかげの川



大阪府

小畑川「水辺の舞台」(西京区)

彩

洛西・いろどりの川



白川(左京区)

花

左京・みやびの川



鴨川「花の回廊」(左京区・中京区・東山区・下京区)

楽

洛東・いざないの川



旧安祥寺川(山科区)



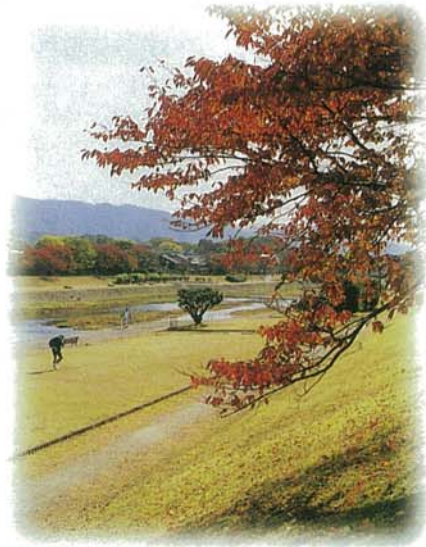
西高瀬川(南区)

悦

洛南・はぐみの川



山科川「洛東の散策路」(伏見区)



鴨川の四季



みやこ
京の川づくり

発行/平成18年2月 京都府土木建築部治水総括室
〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入敷/内町 TEL. 075(451)8111 (代表)